地球温暖化に関する中部カンファレンス

2019年2月8日

# 株）ジェイテクトの環境取組み

株）ジェイテクト　環境部

# はじめに・・・



## What's JTEKT

### ジェイテクト:2006年発足

＋

光洋精工:1921年設立
(大正10年)
※当時は光洋精工社

豊田工機:1941年設立
(昭和16年)

※2社合併

# はじめに・・・

兄よ、ジェイテクトって大丈夫？
大丈夫。ジェイテクトは、世界シェアNo.1の会社です。
No.1 & Only One
JTEKT
自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。

歴史は、わたしたちがわたしたちである証。
歴史ある若い会社、ジェイテクト。
No.1 & Only One
JTEKT
自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。

世界の当たりまえをつくりつづける。
ジェイテクト。
No.1 & Only One
JTEKT
自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。

# ジェイテクト　グループビジョン

# No.1 & Only One

## ー　より良い未来に向かって　ー

私たちジェイテクトグループは、お客様、サプライヤー、従業員との和を大切にし、
「価値づくり」「人づくり」を通じてナンバーワン、オンリーワンの商品・サービスをお届けしまう

お客様の期待を超える

**「価値づくり」**

商品・サービスを通じて、
お客様の期待を超える価値を
提供します

世界を感動させる

**「モノづくり」**

匠の技を極め、
ダントツ品質のモノづくりを
追求し続けます

自ら考動する

**「人づくり」**

ジェイテクトグループの一員として
自身と誇りと情熱を持ち、自ら考え
行動する人を育てます

# 会社概要



## ■本店、本社所在地

本店、大阪本社
　大阪市中央区南船場3丁目5番8号

名古屋本社
　名古屋市中村区名駅4丁目7番1号　ミッドランドスクエア15

## ■資本金

455億91百万円　※2018年3月現在

## ■売上高

1兆4412億円(連結)　6,471億円(単独)　※いずれも2018年3月期

## ■従業員数

49,589名（連結）11,763名（単独）※いずれも2018年3月期

# 会社概要



JTEKT 自動車部品

安心・安全・快適のために。システムサプライヤーとしてベアリングからステアリング、駆動部品まで、幅広い機能を支えています。

1.自動車関連

JTEKT

駆動系部品

ハブユニット

ステアリングシステム

クルマの部品をつくる

クルマの部品として

3.工作機械・メカトロ

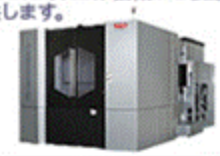
TOYODA

2.軸受（ベアリング）

Koyo

TOYODA 工作機械・メカトロニクス

ものづくりで日本の力になりたい。製造業の高品質・効率化を支えるため、工作機械から製造ラインの効率化までご提供します。



工作機械の部品として

工作機械で軸受をつくる

Koyo 軸受（産業機械関連部品）

ジェイテクトの培ってきた技術は、風力発電や鉄道、航空機から鉄鋼や半導体の製造設備まで、あらゆる分野に根付いています。

# 会社概要

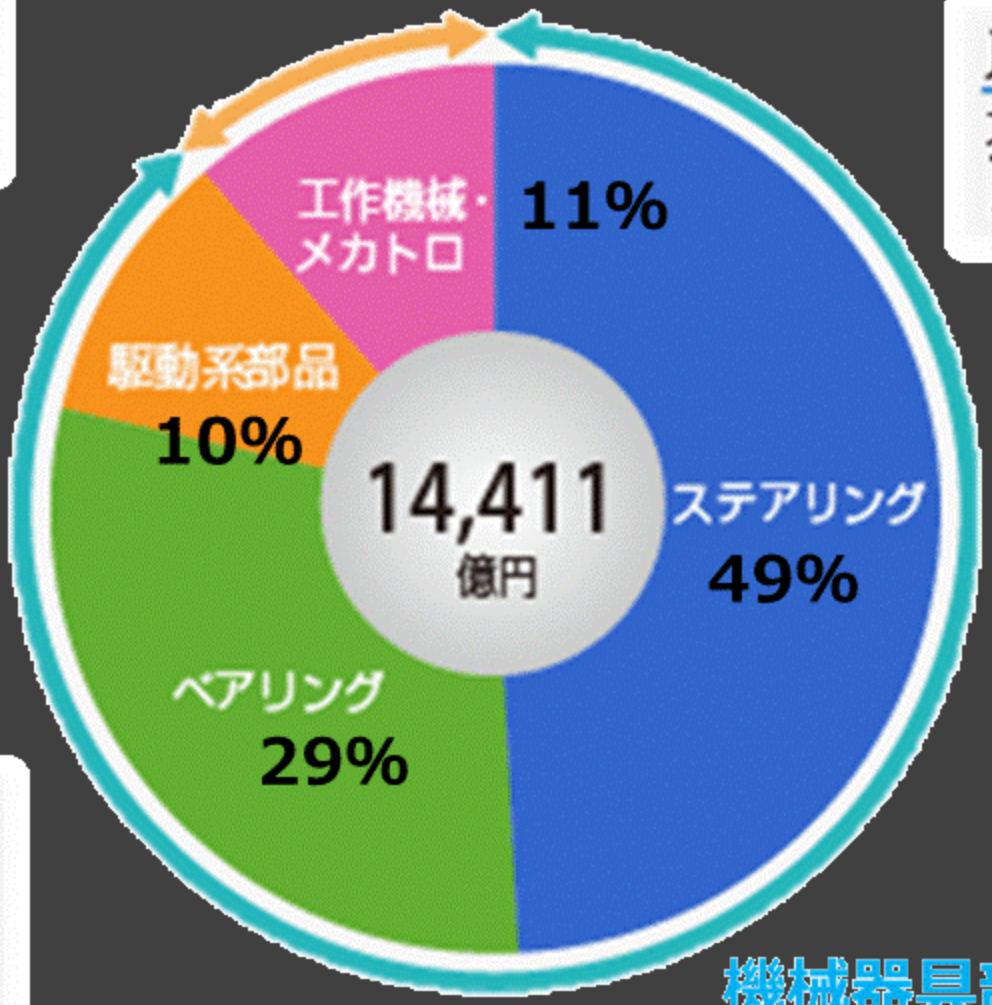


TOYODA
工作機械・メカトロ事業
1,615億円

JTEKT
駆動事業
1,454億円

Koyo
軸受(ベアリング)事業
4,223億円

工作機械事業



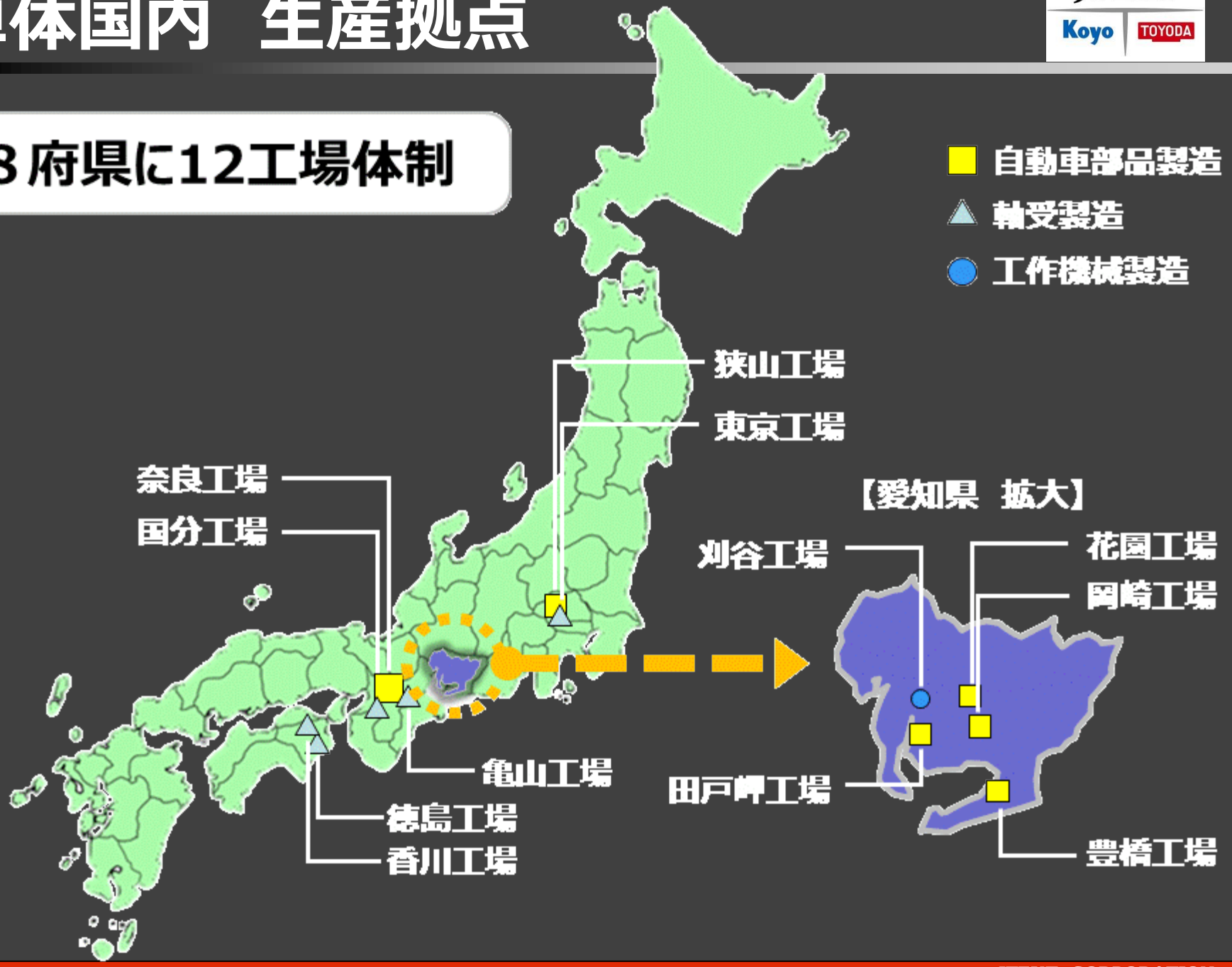

JTEKT
ステアリング事業
7,118億円

機械器具部品事業

# 単体国内　生産拠点



## 8府県に12工場体制

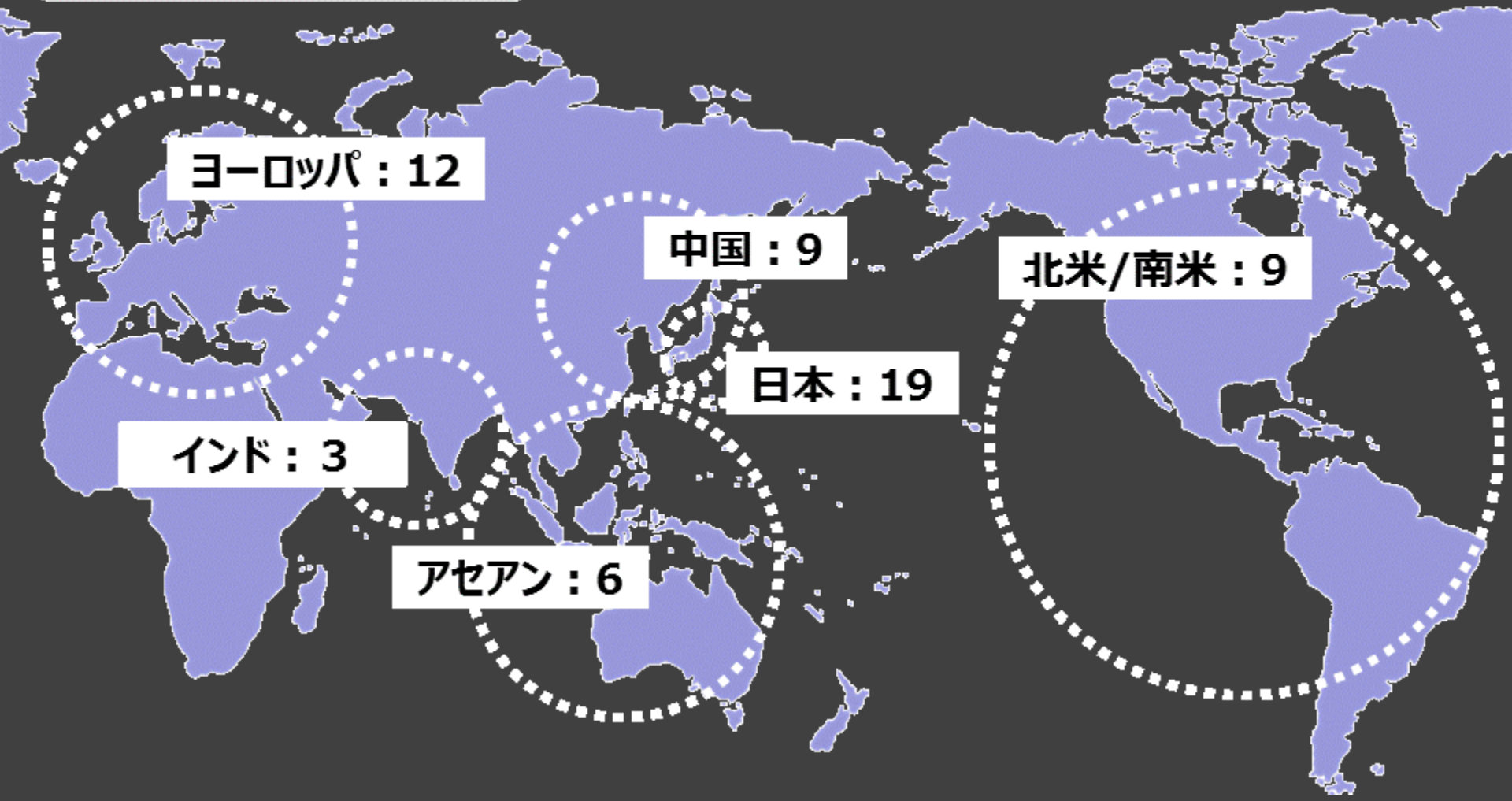


# 連結会社（生産会社）



海外グループ：39
国内グループ：19

ISO14001認証取得
海外グループ：39社
国内グループ：19社



# 推進体制

**地球環境保全委員会**　委員長　取締役社長

- 内部環境監査員チーム

**環境管理責任者**　※現在は、取締役常務役員

**連結**

- 国内：ｼﾞｪｲﾃｸﾄｸﾞﾙｰﾌﾟ環境連絡会
- 海外：ｼﾞｪｲﾃｸﾄｸﾞﾙｰﾌﾟ環境連絡会

**単体：環境専門部会**

（1）環境対応製品対策部会
（2）温暖化対策省エネ部会
（3）生技革新$CO_2$削減部会
（4）物流部会
（5）資源循環部会
（6）環境リスク社会貢献部会

**各工場**
**工場環境保全委員会**

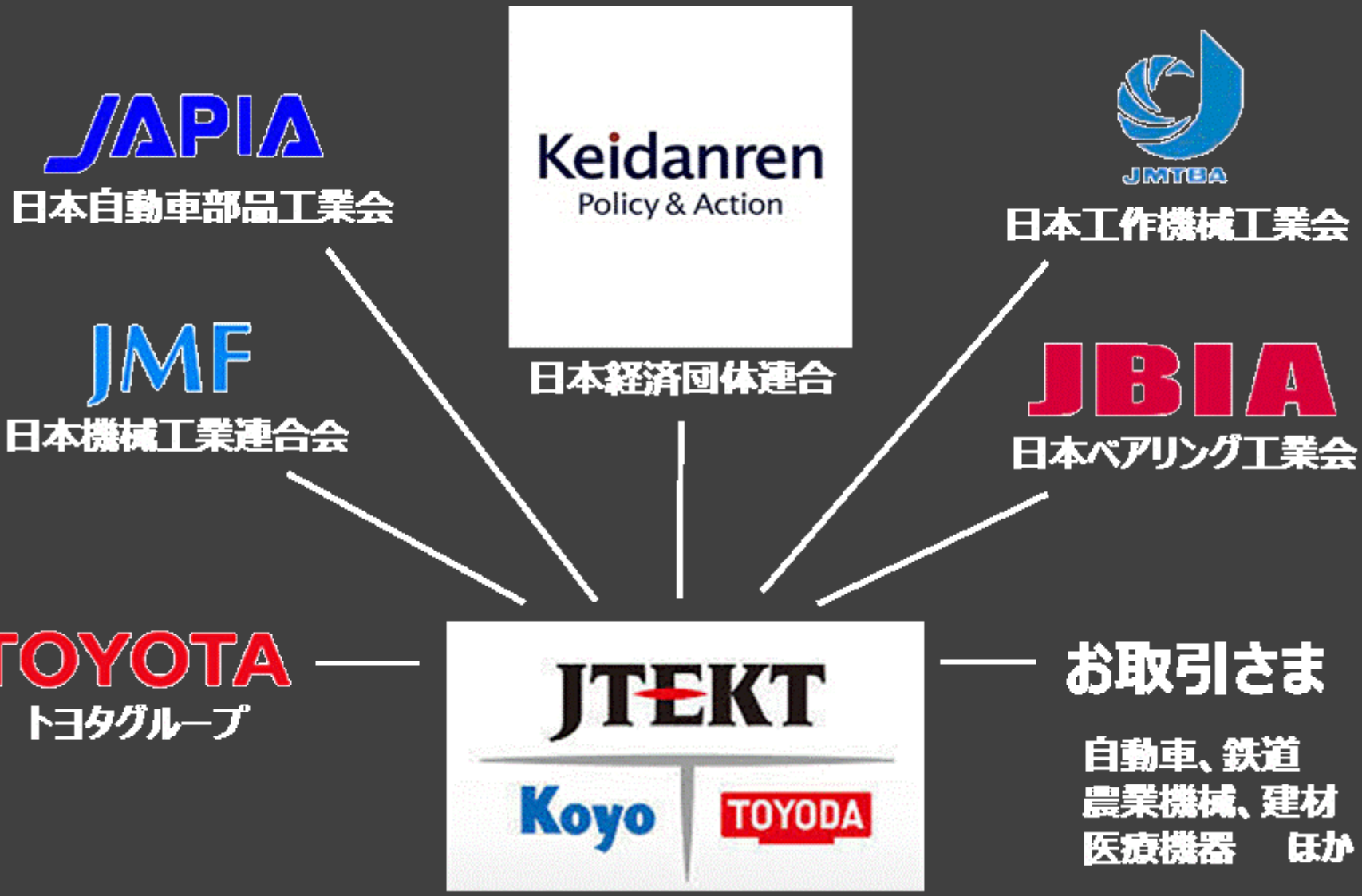
**工場以外※**

（1）名古屋・大阪本社
（2）営業支社
（3）物流ｾﾝﾀｰ

※第3者認証範囲外

# 取巻く環境　関係団体他




JAPIA
日本自動車部品工業会
Keidanren
Policy & Action
日本経済団体連合
JMTBA
日本工作機械工業会
JMF
日本機械工業連合会
JBIA
日本ベアリング工業会
TOYOTA
トヨタグループ
JTEKT
Koyo
TOYODA
お取引さま
自動車、鉄道
農業機械、建材
医療機器　ほか

# 環境の取組み



| | 91～05年 | 06～10年 | 11～15年 | 16～20年 |
|---|---|---|---|---|
| 背　景 | ▼京都議定書(97年) | | ▼パリ協定(15年) | |
| | トヨタ自動車－環境ﾁｬﾚﾝｼﾞ2050公表▼ | | | |
| 環境取組みプラン（5ヵ年計画） | 第1～3次 | 第4次 | 第5次 | 第6次 |
| | 2006年合併▼ | | | |
| | 豊田工機 | ジェイテクト | | |
| | 光洋精工 | | | |
| | ジェイテクト－環境ﾁｬﾚﾝｼﾞ2050（16年/5月）▼ | | | |

# 2020年環境行動計画（第6次取組みプラン）



・「環境チャレンジ2050」から**バックキャスティング**
・5年度ごとに目標を設定（2016年～2020年）

| 区　分 | 2020年目標 | |
|---|---|---|
| 1｜製品・技術 | ・CO2削減貢献量：80万ﾄﾝ/年以上<br>※ジェイテクトグループ全体のCO2排出量と同等以上のCO2を製品により削減 | |
| 2｜低炭素社会の構築 | 【単体】 | （CO2排出量　：原単位目標×生産量）<br>CO2原単位　：15%減（2008年度比）<br>物流CO2原単位　：　8%減（2012年度比） |
| | 【グローバル】 | CO2原単位　：10%減（2012年度比） |
| 3｜循環型社会の構築 | 【単体】 | 廃棄物原単位　：18%減（2008年度比）<br>梱包資材原単位　：　8%減（2012年度比）<br>水使用量原単位　：　8%減（2012年度比） |
| | 【グローバル】 | 廃棄物原単位　：　8%減（2012年度比）<br>水使用量原単位　：　8%減（2012年度比） |

# 2020年環境行動計画

## 2018年度上期　目標達成状況（公表）

| | |
|---|---|
| 1｜製品・技術 | ○ |

| | | グローバル 全体 | 単体 | グローバル（連結） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 国内 | 欧州 | 北米 | アセアン | 中国 |
| 2｜低炭素社会の構築 | CO2原単位 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| | 物流CO2原単位 | | ○ | | | | | |
| 3｜循環型社会の構築 | 廃棄物原単位 | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |
| | 梱包資材量原単位 | | ○ | | | | | |
| | 水使用量原単位 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

# 環境チャレンジ2050

・2050年に向けた、オールジェイテクトの環境取り組み指針

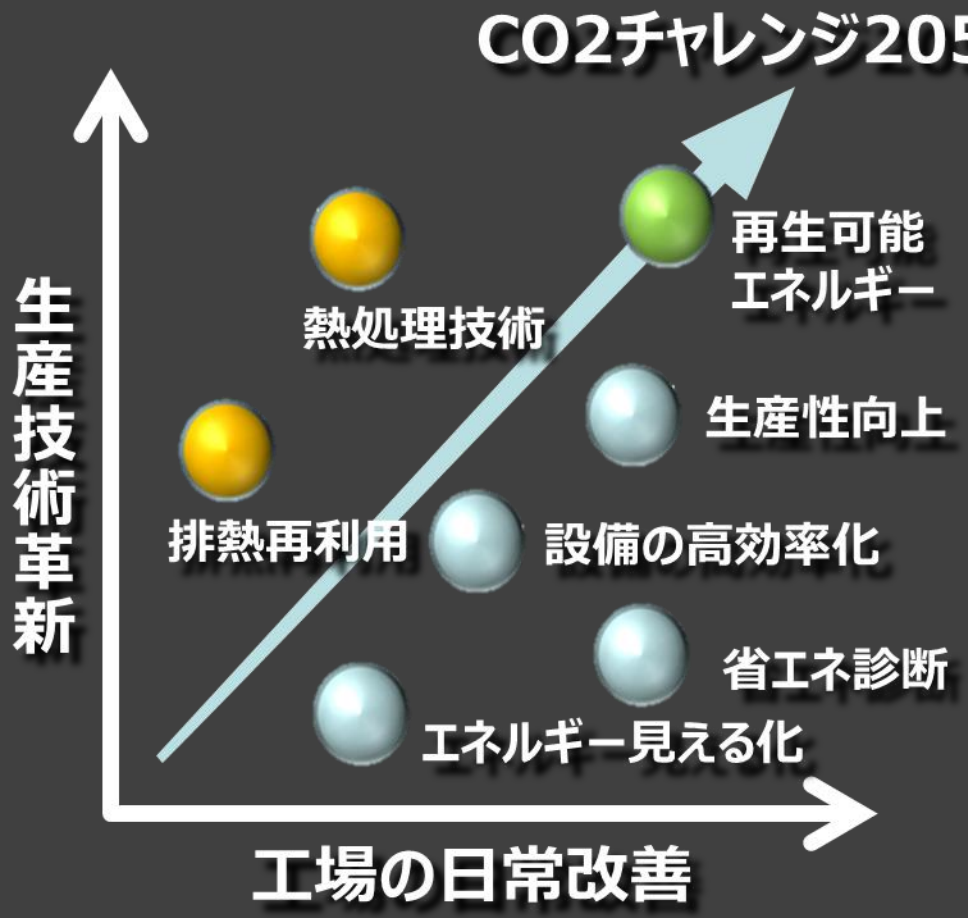
・<u>環境負荷の極小化、環境価値の最大化</u> に向けた5つのチャレンジ

| 区　分 | 指　針 | SDGs |
|---|---|---|
| 1｜製品・技術 | ・製品・技術開発力を活かし<br>環境社会へ貢献 | 作る/使う責任 気候変動 |
| 2｜低炭素<br>社会の構築 | ・製品のライフサイクルで排出される<br>CO2の極小化<br>・工場で排出されるCO2の極小化 | クリーンエネルギー 技術革新 作る/使う責任 気候変動 |
| 3｜循環型<br>社会の構築 | ・排出物の極小化と再資源化の拡大<br>・水使用量の極小化 | 安全な水とトイレ 作る/使う責任 |
| 4｜自然共生・<br>生物多様性 | 関係機関と連携し、<br>自然共生・生態系保護活動を推進 | 作る/使う責任 海の豊かさ 陸の豊かさ ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ |
| 5｜環境<br>マネジメント | 地球環境保全を積極的に進められる<br>企業風土と人づくり | 質の高い教育 ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ |

# CO2ゼロチャレンジ

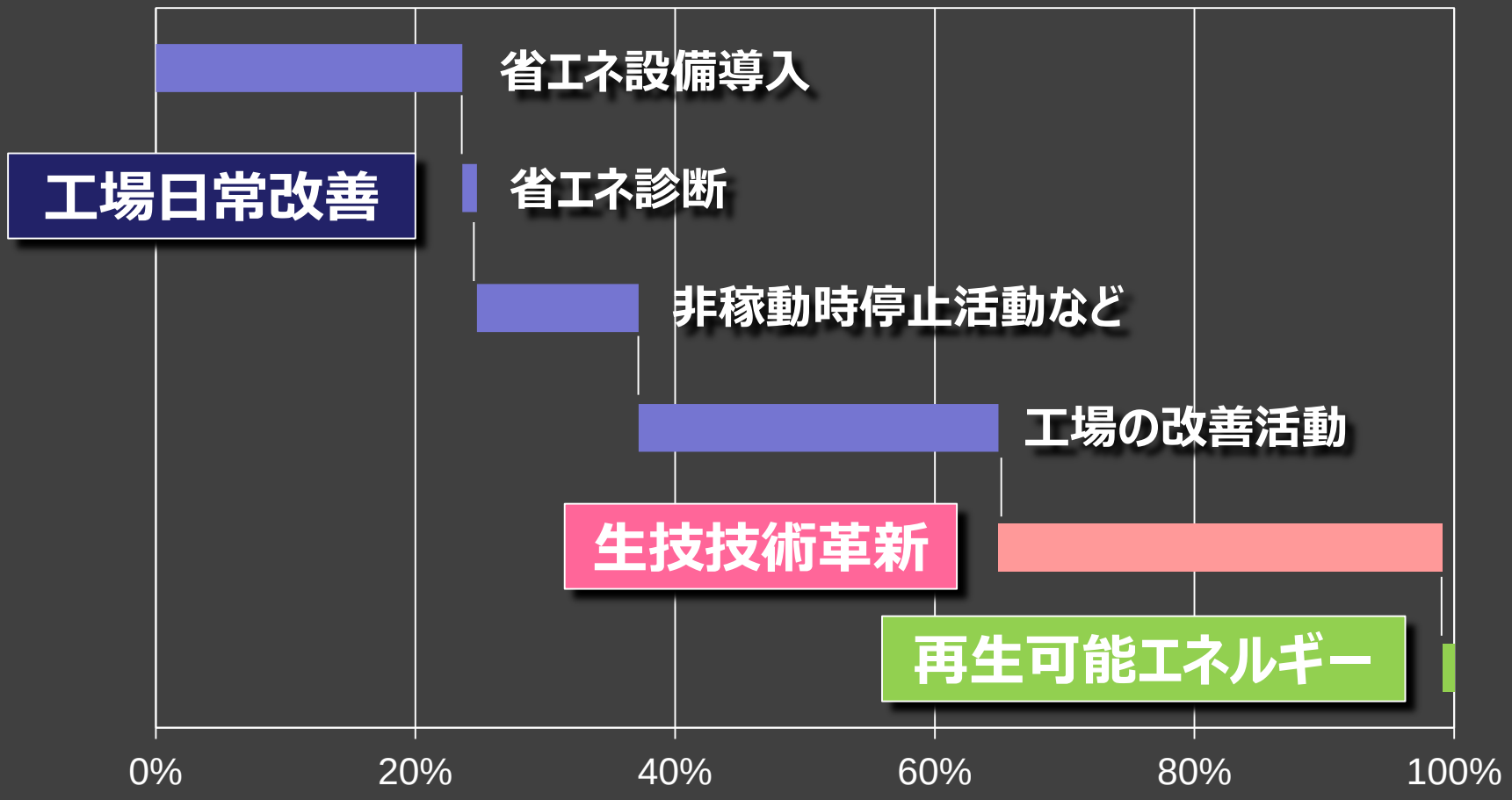
排出量原単位を2001年度比

2020年： 1 / 2
2030年： 1 / 3



# CO2ゼロチャレンジ

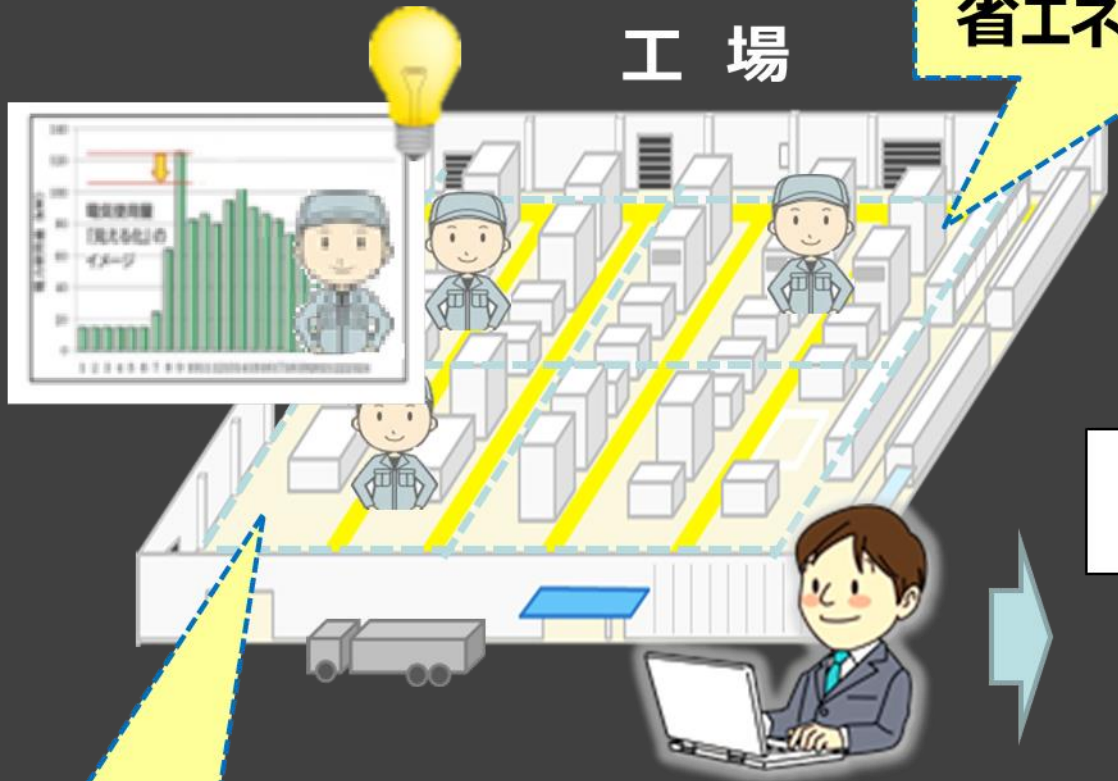
## 2020年　原単位½化に向けた　シナリオ積上げ状況




※削減量：約5万ﾄﾝ（18～20年）

# エネルギーの見える化による改善

【見える化による気付き＆改善】

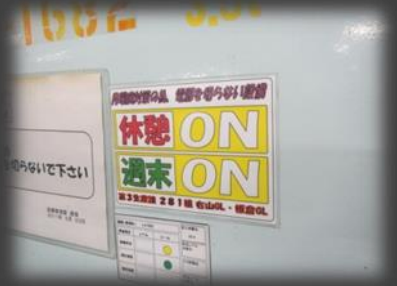


グローバルへ展開

# 非稼動停止活動

Step-①：運転準備OFFを優先

Step-②：全ての電源をOFF




・状態の見える化：停止できる設備に札掛け
⇒現場で誰でも気付く事が出来る

・マップ化して管理（非稼動時停止MAP）
⇒改造が必要な設備の洗い出しから予算を確保

# 自然共生活動

ジェイテクトの自然共生活動は、

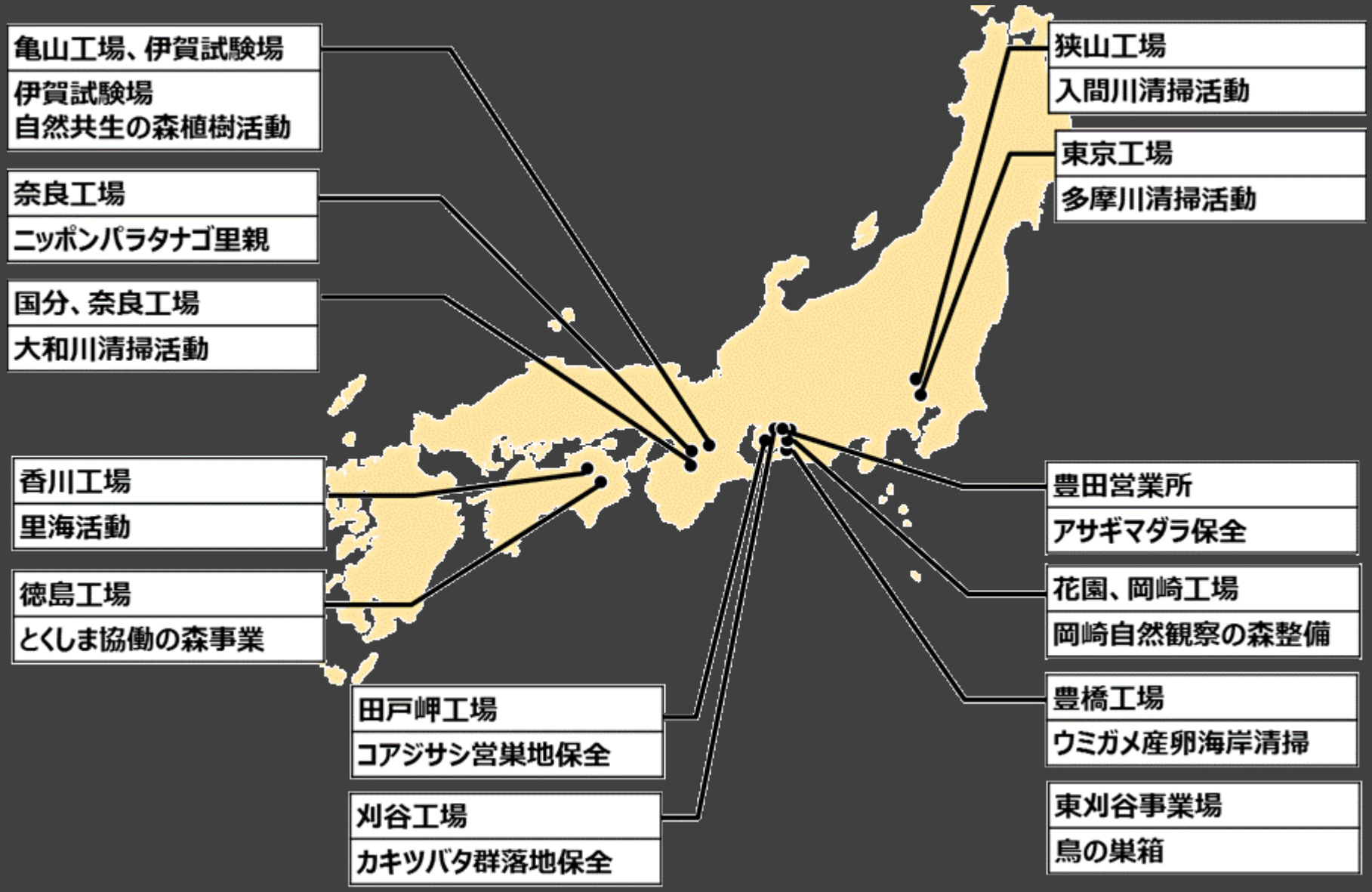
・On-Site：各工場に生息、生育する 「希少な生き物の保全」
・Off-Site：各工場を取り巻く 「地域の自然環境の整備」
・継続的に自然共生取組みを図るための 「環境人材の育成」
の３つの取組みを柱として進めています。

希少種の保全：コアジサシ
田戸岬工場

植樹活動：アカマツ林
伊賀試験場・亀山工場

野鳥の観察会
田戸岬工場

# 生物多様性　17年度の取組み



# 生物多様性　地域連携

伊賀試験場
「社会貢献の森」提携
相手先:林野庁　三重森林管理署さま

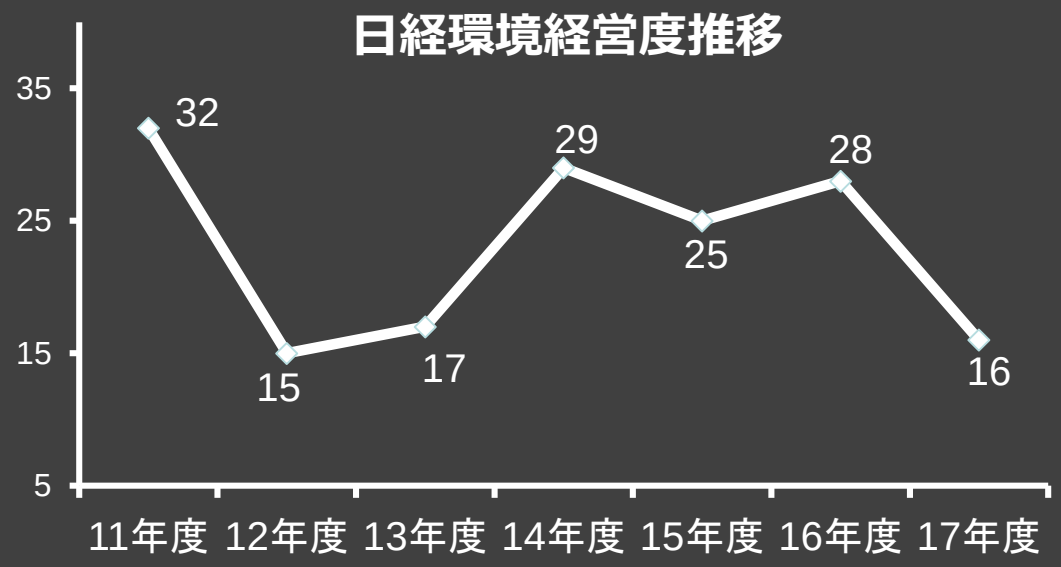
田戸岬工場
「コアジサシ
営巣地保全に向けた協定」
相手先:西三河野鳥の会さま

奈良工場
「ニッポンバラタナゴの里親認定」
相手先:近畿大学さま

# ESG/情報開示

## 社外からの評価

| 対　象 | 結　果 |
|---|---|
| 日経）環境経営度ランキング | １６位（468点） |
| CDP評価<br>※CDP : Carbon Disclosure Project | 気候変動 : A- 評価 |
| | 水　　: B　評価 |



# ESG/情報開示

## ESG投資　格付け取得に向けて

・開示情報の見直し（2018年8月　Web公開）

| 項　目 | | 対　応（開示情報の見直し） |
|---|---|---|
| ① | 危険廃棄物の排出実績 | 単体+連結の排出実績(3年分)を掲載 |
| ② | VOC排出量実績 | PRTR排出･移動量からVOCのみ集計を追記 |
| ③ | サプライヤーのモニタリング | 製品環境委員会による仕入先監査の取組み |
| ④ | 種類ごとの原材料使用量 | 単体における種類別 資材/副資材購入実績の記載 |
| ⑤ | 環境面での罰金･罰則 | 罰金･科料･訴訟等の有無 |
| ⑥ | ISO14001取得状況 | 単体+連結における認証取得事業所を追記 |

・今後の課題

-SBTの設定＆登録　⇒「原単位目標」から「総排出量目標」へ

-TCFDへの対応など

※SBT : Science Based Targets

※TCFD : Task Force on Climate-related Financial Disclosures

# 最後に・・・

## グローバル環境メッセージ

# ご静聴ありがとうございました